

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(Ⅱ) 18 (Ⅳ) 38	ご年齢を重ね認知症が進行される中、ご本人の「出来ない事」に着目するのではなく、「出来る事、ご本人がしたいこと」に目を向ける。出来ることに気付く視点を持つ。 ご本人お一人お一人がやりがい、生きがい、満足感、達成感を感じ続けられる環境作り。	9名お一人お一人の自発性を深める。 日常生活の中で、ご本人のペースで暮らしながら、出来る事を続けられる。役割ややりがいを感じ、ご本人も職員も共感、協働できるホームを目指す。	・お一人お一人の背景、歴史を知る。 ・出来る事の気付き(アセスメント)、具体的な自発支援について生活プランへ紐づかせ日々のケアの中で実践。 ・認知症の理解を深める、ひとつ一つのケアの統一。 毎月1回以上実施予定の研修、ミーティングの場で深め確認していく。	12ヶ月
2	(Ⅰ) 13	コロナ禍であり法人内外での学びの機会が減少している。法人内においてはWebやTeamsを運用した研修も増えているが、重度化の中、ホームとしての学びの場を充実させ、グループホームとしての人材育成を深める必要がある。 ①認知症ケア ②介護技術 ③看取りケア ④再発防止(事故対応) ⑤緊急時、防災等	職員の学びの場、自己研鑽の風土を深める。 認知症ケアを軸にしたホーム研修の場を計画的且つ状況(タイミング)に合わせ実施する。 グループホームで働く職員として、認知症への理解、知識を深め日々のケアに活かすことが出来る。	・認知症ケアを軸に認知症への理解、知識を深めるホーム研修の実施。(年間6回以上実施) ・認知症ケアを軸に介護技術研修を行いケアの統一を行う。(年6回以上実施) ・その他、再発防止(事故対応)、緊急時、防災等の研修の実施(年間1回以上実施)	12ヶ月
3	(Ⅰ) 2 3 4	コロナ禍の中、これまでの地域交流、地域貢献が縮小、中止となっている。 ①地域交流を目指した季節行事 ②運営推進会議 ③地域貢献の一環でおこなってきた認知症カフェとサポーター養成講座	状況に合わせてながら安心安全な対策をおこなった上で活動をおこないたい。求められている施設観の構築と地域の方がホッと出来る、よりどころとなり得るような存在を目標とし地域貢献を目指す。	・町内活動の参加(資源回収、町内掃除) ・施設観(掲示板の更新、季節の花や環境整備)地域に向けたメッセージ、発信。 ・2か月に一度の運営推進会議の実施(コロナ禍のため安心安全な実施方法を検討する)	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。